

国道498号線の陸の孤島から 「あじネ」で繋がった 患者さんと医師双方のメリット

医療法人山口てつ整形外科クリニック 院長 ^{やまぐち} 山口 ^{てつ} 哲 先生



平成26年
あじさいネット
入会

某名誉院長に勧められ、 趣旨に賛同し脊髄反射で入会

医師会報と一緒に送られてくるあじさいネットOFFLINE通信を「皆さん文才に長けてスゴ！こんな文章は到底書けんな〜」といつも気軽に拝読していたが、ブルーな気持ち満タンの診療開始前に火傷しそうなコーヒートを啜るモーニングルーティン中、何故か拡充プロジェクト室から執筆依頼の電話が入り久々に背筋に冷や汗と緊張が走った。診察室に貼ってある鶴の港のポスターを「1300字程度つてちよつとした小論文レベルやん…困った〜困った〜」とある先生の真似をしながら、スリーパーホールで締められたような意識朦朧状態で眺めると、あじさいネット（以下あじネ）とはNPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会の通称名であるそうだ。その入会のきっかけは、長崎労災病院医

療連携室にほぼ毎日のように電話させて頂いている小西宏昭名誉院長から入会のすすめの連絡があり、趣旨に脊髄反射で賛同し入会に至った。佐世保市医師会館で運用講習会を修了、アダプタ設置工事に同席しVAIOのあじネアイコンのレッドがグリーンに変色しONLINEになった瞬間は、国道498号線の陸の孤島が地続きになった気がして、「1人じゃくはないから〜」と歌いだしそんな気分であった。

患者さんとの診療の思い出と 受験生のような気持ちで 楽しみな読影レポート

あじネとの「絆」が出来て、8年、1番印象的な患者さんは、主幹病院と並行受診していた非常にナーバスな中学生の親御さんに、VAIOを凝視する視線を痛いほど感じながら、冬季オリンピックさながらの薄氷を履むような緊張感で、一言一句違わぬようシェアードイシジョンメモキングしていったことが今でも強く印象に残っている。あとは放射線科医の読影レポートを、正誤表を読む受験生気分画像読影レベルをアップ出来たらなと思ひ毎回来しみに確認しています。また上記のように診療支援機能と生涯教育支援機能の2つの機能が享受出来るため、日々の診療において非常に有意義に医療の質向上が図れると思っております。

使い込むほどに いい味が出るコンテンツを より有効活用したい

早期大会出場やスポーツ競技復

帰を目指す学生さんが多い当クリニックの特性として主幹病院でのCT、MRI撮影後の結果説明までのタイムラグの解消に有用であり、かつ上記のような保護者からも非常に有り難がられるツールであるため、今後は使いこめば使いこむほど、いい味が出てくるコンテンツ（現在使用出来ない検査データ共有サービスなど）をより有効活用したいと考えています。

至誠・言行・気力・努力・不精

当クリニック理念である『親切なスタッフによる「横から目線」の医療を心がけます』と、中学生入寮生活の恩師山本寮長（大日本帝國海軍出身）からの教えである五省とともに今日1日を自省自戒するよう心がけています。

コロナ自粛期間の間は 愛犬との散歩でロコモティブ シンドローム予防に励む

小学生から底が丸見えの底なし沼と言われるプロレスにハマって抜け出せない状態が続いていたのですが、現在コロナ禍第7波真っ只中、密航（長距離移動してプロレス観戦に赴くこと）自粛期間に伴い、ここ2年間は午後休診日や日祝日は、躰など問答無用のじゃじゃ犬2匹（フレンチブルドッグ5歳メスのオリヴとポストンテリア3歳メスのクリーヴ）に自宅周囲を引っ張り回され、ロコモ予防に励んでいる今日この頃です。